

March 30, 1973

**Record of Conversation between Foreign Minister
Ohira and Chen Chu**

Citation:

"Record of Conversation between Foreign Minister Ohira and Chen Chu", March 30, 1973, Wilson Center Digital Archive, 2004-204, Act on Access to Information Held by Administrative Organs. Also available at the Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan. Contributed by Yutaka Kanda.
<https://wilson-center.drivingcreative.com/document/118839>

Original Language:

Japanese

Contents:

Original Scan

大 臣
事務次官
外務審議官

官 房 長

官房総務参事

儀典長

儀典官

秘密局長

中江参事

情報公開室

情報公開室

秘 除 期 限

22

別紙(四)号

大平外務大臣・陳楚時節全権
大使との会談記録

48.3.30

中江課

陳楚中華人民共和国内閣の時節全権

大使は江塔村三等書記官を帯同し、3月29

日午後1時より1時30分まで着任のあいさ

のため大平外務大臣を表敬訪問したと

この際、の会談概要は次の通り。

まず日本側からは、力石儀典長、江

中江課長及び藤井大臣秘書官が同会談

GA-6
に出席した。省 外 務 省
中 江 課

2

大臣： 大使閣下を東京にお迎えするお出立の
ご準備に思ふ。閣下の着任を歓迎する。

大使： 大臣の御言葉に感謝する。昨日は上海
からの直行便に乗りましたが、二時向余りの飛行で

東京に到着した。

大臣： 上海からは二時向余りの飛行出立の

か。飛行状況は順調であったか。

大使： 極めて順調であった。

大臣： 時に大使は何人の家族を帯びておられ
るのか。

大使： 家族は二人ですが現在いづれも工内に
残っている。

大使： ^{着任の挨拶のため} 着任早々大平大臣閣下に素直な
お目撃機会を得ようと思つてゐる。北京を

出發する際、周恩来総理、姬鹏飞外相より、田中総理、大平外務大臣、二階堂官房長

官に対し特に早くお伝えするよう命令を受けた
ので傳達申し上げます。

大臣： お言葉に感謝する。私自身にしても
日本政府にしても大使閣下を東京にお迎えす
ると同時に光栄に思っ

ることも出来うれしく思っている。私としては、田中
両氏の変わらない信頼、理解の上に立ち、今後

田中両氏の関係を安定した強固な基礎の上
に置くようにしたくこの面では協力出来るもの

と考えている。

現在にたい一つ申し款なく思っているに

とは、陳大使閣下^御着任以前に中国大使館
の物的施設の整備が出来なかった点である。

4

今後 陳大使閣下の御意伺をうかがいつつ、最善の努力を果し、出来る限り早い時期に大使閣下及び大使館員の皆さんが落ちついた生活が出来るよう検討したい。

大使： 現在のことよりホテル住みで落着かないと思つて不便であるが、大使館についての日本側の努力に感謝している。北京での日本大使館についても完全に満足できる施設を創設

している訳ではない。北京の日本大使館事務所は一つの建物から成っているのではなく、二つの建物を廊下でつなぐものである。

大臣： あが方大使館建物につき早速御所

慮強く感謝している。今朝^もの国会の外務委員会では、北京のわが方大使館建物について中

5

は側が主張を提出してくれてゐるに拘らず、中
は大使館の物的施設が完備しておる。日本側

はたゞしがないではないが、もとゞり野望の義
量がうばはれた。これに對して、我々には双

より物理的の

は、^に喜意と信頼がめれば、この問題はうまく
解決する^{に信じてゐる}と思つてゐた。

大使： この問題は両国の友好関係に影響
は与へないし、我々は この問題が大平大

陸のお骨折りに早く解決することを信じてい
る。今次赴任に際し、先刻も申し上げた通

り、上海より發し、沖縄、鹿児島^{を経て}、羽
田に到着した。この向の旅程は約2時間半。

り、中には日本への向は誠に一夜帯木の向柄、
極めて近隣邦にありと改め強く感じ

た。日中両国の友好関係の一大の発展のため
に日本の人達も今後更に長期の努力を行
なっていくと考へている。

翌年9月大平大臣閣下は田中総理と

共に訪中され平沢東主席、周恩来総理、姫嶋
外相ら中印政策の指導者と会われ日中

交正常化につき話し合はれ、両国の外交関
係が始まった。従って日中に交正常化における

大平大臣閣下の貢献は非常に重要なものがあ
り、今次北京を出發する際にも周恩来総理

姫嶋外相らと共に話し合はれ、日中両国の
関係の発展に貢献したと考へられている。

大平：私が行ったことは当然のことではな
い。何ら誇るべき事柄ではないと考へている。

7

は、この邊分のお言葉を聞き、悲願している次第
である。

申し上げたいのは
一つ、陳大使閣下及び中印大使館員の
皆様方が当地即ち勸中、静穏な生活をさ

れらるゝ願っているといふことである。我々には
皆さんの氣にされる事が起らない事を注意し

ているが、大使閣下も御承知の通り、アフガニ
スタンは自由開放体制の国柄であり、国内には種々

な分子がいる。イモを行なうものもある。中には例
え氣にされることがあるかも知れない。日本政

府としては二つある出事事が起らない事を極力
注意するが、二つある出事事が皆無といふことを

約束申し上げたいのは、^{これは}難しい。かかる出事事は
まあ若くして見れば、自由開放体制の一種の

8

支那のべき代償もいふべきであるかも知れない
 とかくこの様な出事事が発生した場合も予

意に介さぬ態度をとり得る事が望ましい。これは
 出事事をいへ出かす連中もまあいふが高貴をせ

いふ事はあてある。時偶自分自身を存在せ
 ぬに終る必要がある。そうしなければ自分自身

の敵を喰ひ上げてしまう。私もこれらの連中
 は當時をいっているのにならうにた。

大使： 大臣閣下御配慮に感謝する。中に
 大使館側からいへばもと大平大臣閣下と日本

政府の配慮の下に遂にこの事が出来たものと信
 ずる。去年9日の日中共同声明により両国間の

平和友好という大方向が決められた。これによ
 り今後日中両国人民の友好関係を発展強化

9

されている。日中両国間に相互に^等衡が保たれた場合も、平和友好という大方向が定まってい

る以上、話し合いにより合理的^な解決が得られるものと思う。私は日中両国の善隣友好のため

努力してゆきたい。このための御協力を仰ぎたい。昨年9月12日正常化になり、日中両国関係建上

に新しい頁が開かれたが、両国はこれを契機として、^{結果}日中両国の友好の新しい頁を書き続けて

ゆきたい。何分両国は日本に初めて来た次第であり、何か不備な点があれば指摘して頂き、御

教示願いたい。

大臣：（日中関係については）是等御指摘

のあった通りである。隔意のない話し合いを通じて、中日友好の大精神に基づいて、各種

10

の問題を一つ一つ手堅く解決してゆきたいと矢
張り。陳大使閣下と共に仕事が出来ると

に思っている。

大使： 今の午前中、力石儀典参事^信に

就奉呈参儀典関係事項につき種々話をうけ
たが、信氏就奉呈については種々世話を

なすと思つた。この参事文臣閣下にも御座る
を希望する。(関係書類を提出。)

大臣： 信氏就奉呈式⁵日取りは決
定したか。

大使： ¹⁵日である。大臣閣下には種々御多
事なれらるゝが、今日はこれにて失礼する

と申し。

大臣： 御来訪に感謝する。御在勤中の御
健康と任務の円満遂行を祈る。

